



乳王さまの幕

となりの



白なりの
乳王さま八幕

■どうも皆さまご無沙汰しております。

初めての方は初めまして

ヤサカニ・アンでございます。

長いものでとなりの乳王シリーズも8作目となりました。

おそらく物語完結まで後2回程となりますが

どうぞお付き合いください。

今回はアルトリアと士郎のおねショタ回です。

どうぞ御覧ください。

それではまた後ほど



助け…ないと…

あ…ぐっ



じゃないと
アルトリアが…
アルトリアが…

動いて…
動いてくれ…
助けなきゃ…
助けなきゃ…



嫌だ…ッ！



また…俺の家族が
いなくなるのは
嫌だ…



もうあんな想いを
するのは…



誰だ？

キミに名乗る程の者じゃないよ

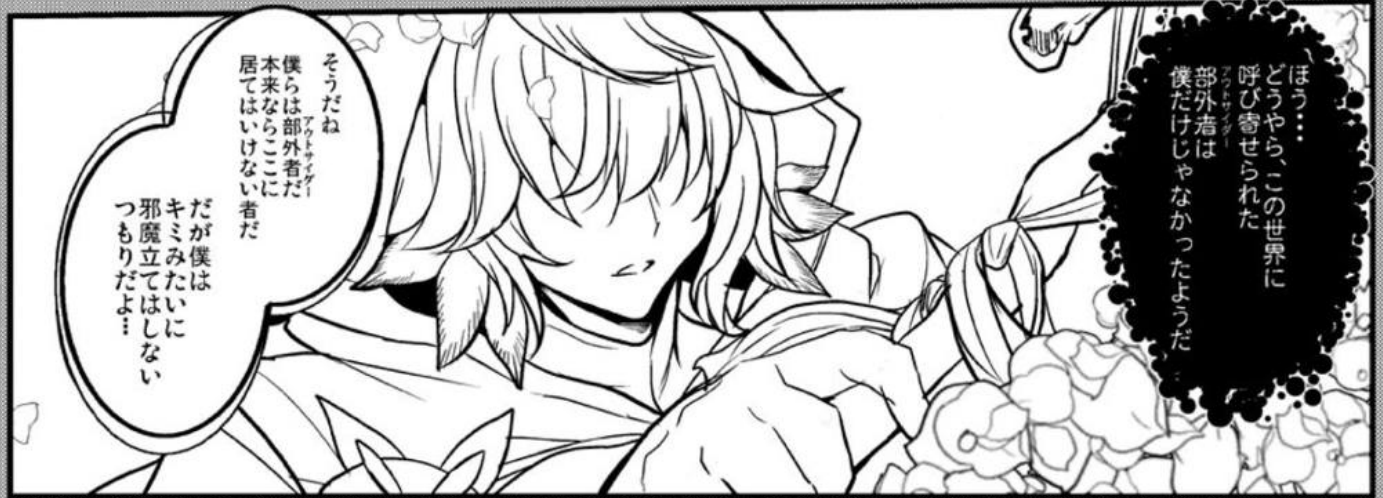
あえて言うなら「花の魔術師」と言ったところさ

彼女達の事を
見守って
いたかったけど
そう言ってもらえない
状況らしいね



この花びらは……

キミは
実に酷い奴だな
二人の間を割って
入ってくるなんて



ほう……
どうやらこの世界に
呼び寄せられた
部外者は
僕だけじゃなかったようだ

そうだね
僕らは部外者だ
本来ならここに
居てはいけない者だ
だが僕は
キミみたいに
邪魔立てはしない
つもりだよ……



まあ良い

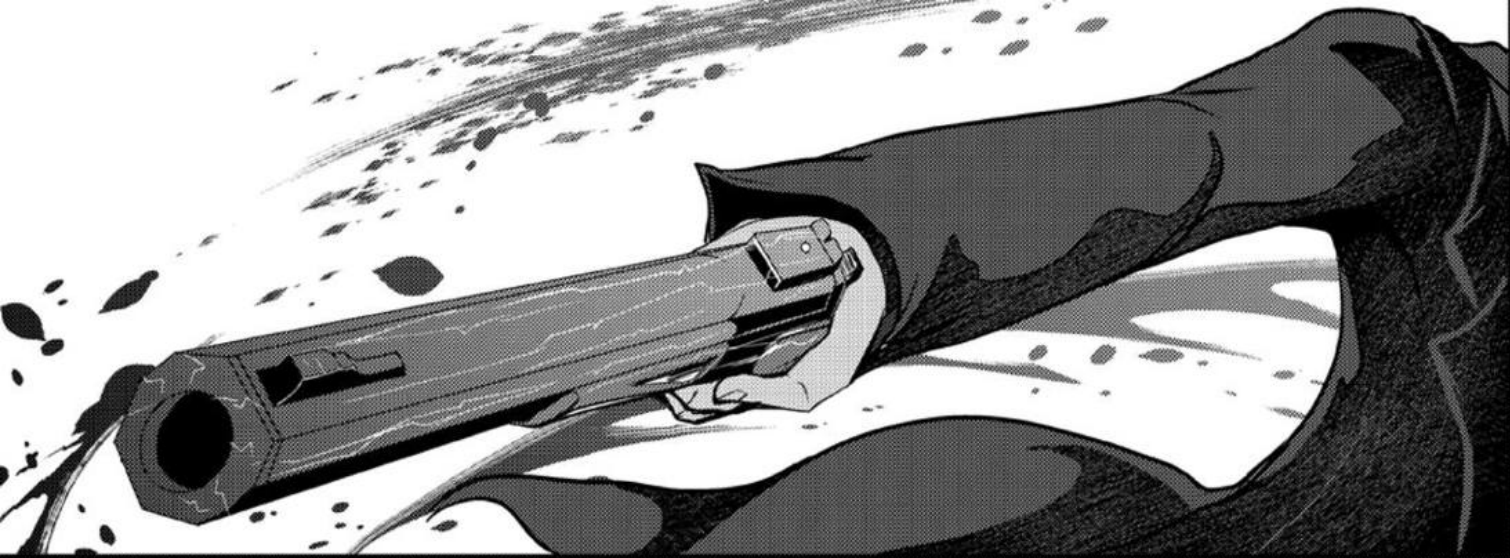
ちようど
僕の方も『時間切れ』だ
少々事を急ぎ過ぎたかも
知れないが

えっ？
この声……
男の人……

でも
どこかで……

士郎に預けてた
聖杯の欠片は
回収出来た

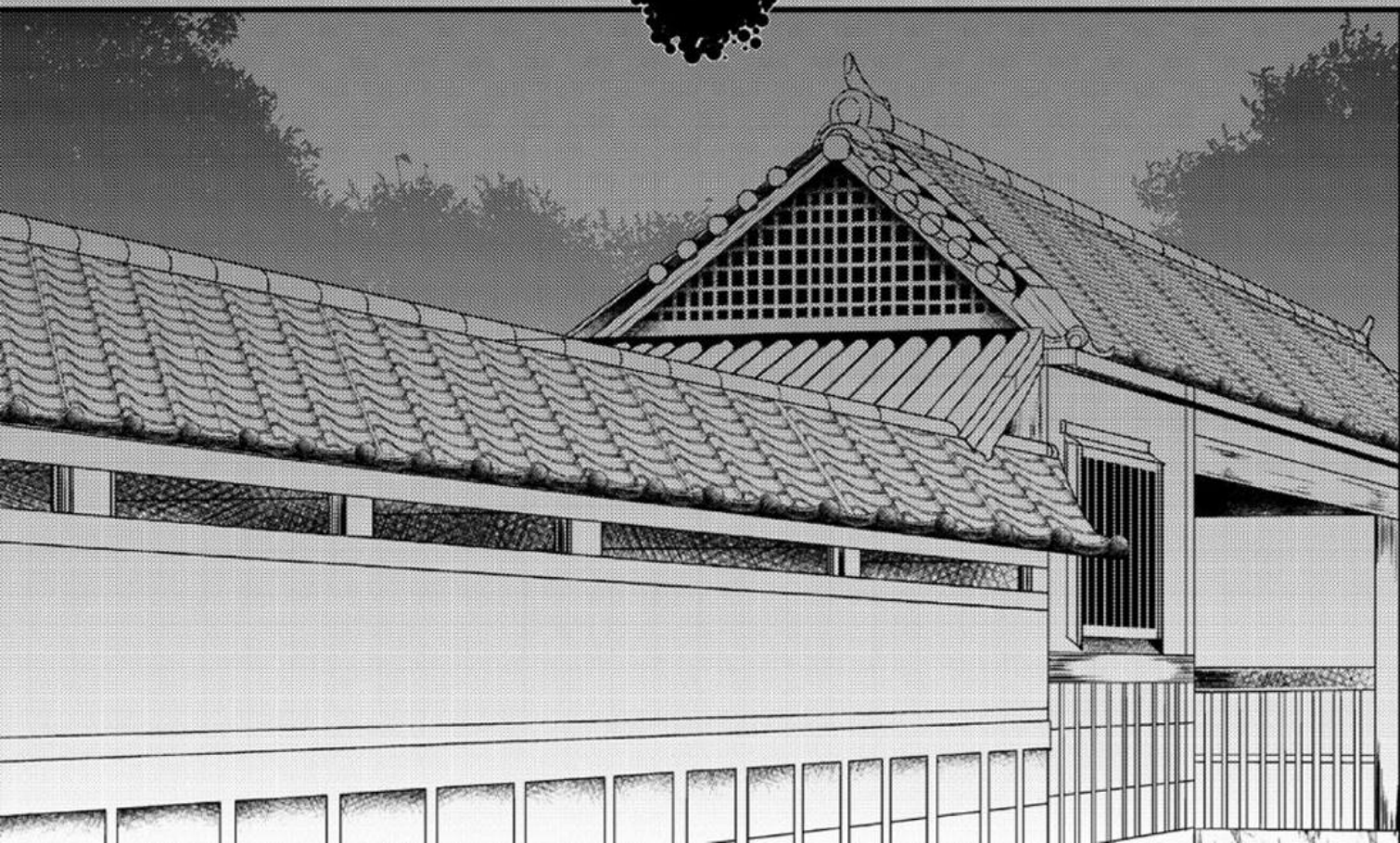
それだけで
充分な成果だ



この世界の
生殺与奪は
僕が握っている事を

僕も君達も
与えられた
時間はあまりない…
だが
覚えておいて
欲しい…

大聖林空洞で
君達を待つ…





アルトリアっ！

良かった...！
無事
目覚めたんだねっ

具合はどうだ？

アルトリアの家だ
アルトリアよ



んっ...

ここは...



あの時、聖槍を
破壊されて
私は...

うっ...！
そうか...

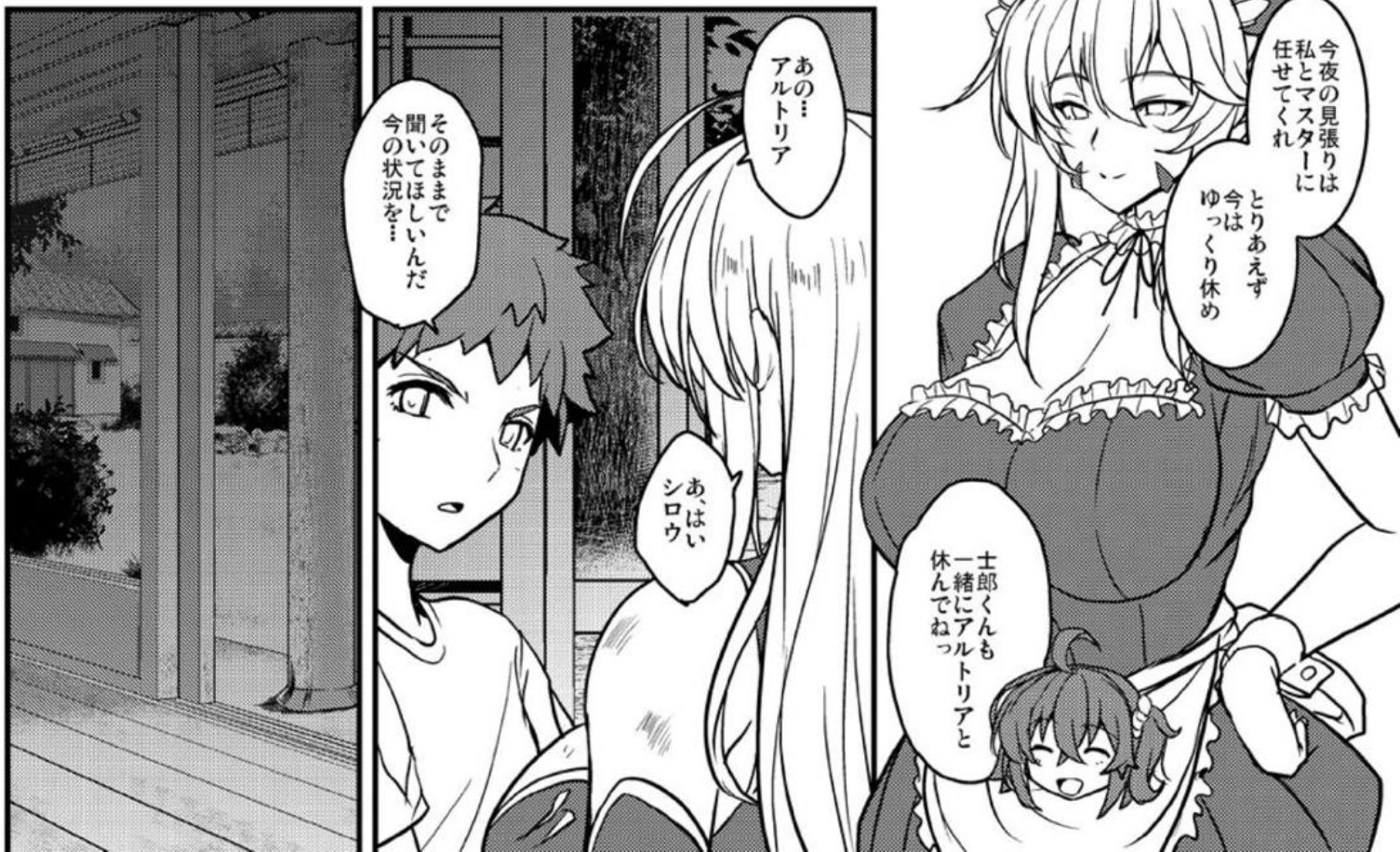
ありがとう...
貴女達のお陰で
救われたのですね

いや私達は...

ほら...っ
オルタ

マスター...

そうだな
アルトリア...



今夜の見張りは
私とマスターに
任せてくれ

とりあえず
今は
ゆっくり休め

士郎くんも
一緒にアルトリアと
休んでねっ

あの...
アルトリア

あ、はい
シロウ

そのまま
聞いてほしいんだ
今の状況を...

そうですか…
アンリマユは
そんな事を

あまり猶予はない
みたいですね…

アイツは…俺の身体を
『僕の身体に相応しい』
と言ったんだ

俺を殺すわけじゃなく
俺の泥の女性達を使って
聖杯の欠片を
取り出したんだ

異常なまでに
拘っているようだった
アイツは爺さんの…
切嗣の願いを…

爺さんの夢を
あんな歪んだ願いで…
絶対許せない…!!

アイツの企み
絶対に…止めないと!

この身体を媒介にし
俺は完全な骨肉をまげ
切嗣の願いを叶える

それに…俺
託されたんだ

さっきは
助けてくれて
ありがとう

まさか俺の
学校の『理事長』が
魔術師だったなんて…!!

お礼は良いよ
今夜はもう
あの黒いのは
襲ってほ
来ない苦だからね

あの
『理事長』に
アルトリアの事を

それと士郎君…
すまないが彼女に
私事伝えないで欲しい

なんでさ!?!
『理事長』アンタ
アルトリアの
知り合いなんだろう?

色々事情が
あるのさ

それに、本来
私はここに
『存在』じゃないんだ



物語…?

それに…
この花は?

私の気持ちさ
受け取ってくれ



私は見ることしか
出来ず
綺麗な花を咲かせる事しか
出来ない男だ

私が力になれるのは
ここまでと
考えた方がいい
この「物語」を
終わらせるのは
キミ達だからね



理事長!?

危険が迫った時
その花を
彼女と二人で
咲かせるといい

私がこの世界に
顕現出来るのは
ここまでのようだ

士郎君、キミと
話せてよかったよ
キミが
彼女を守ってくれ

そして…
彼女をよろしく

待って!
理事長!!
まだ話が…!!



俺が…
アルトリアを…



……
アルトリア…
起きてる?

はい
起きてますよ
シロウ

何かごめんね
アルトリアの
治療力を高めるのに
二人で過ごすのが
良いって立香たちが…



昔の…
あの頃ですか



私は大丈夫ですよ
シロウ
ご心配なく

うん！

こうして
二人で一緒に過ごすの
日々だろ

何かふいに
昔のあの頃を
思い出しちゃって



シロウ…私も覚えてます
あの頃は…

色々あって
仲良くなった時
こんな風に
天井みてたな…



…
最初に俺が
アルトリアに対して
ツンツンしてた
あの頃かな



帰ってくれッ！



もう切嗣は
ここにはいないんだ！

アンタが切嗣の
親戚だろうと
知ったことじゃない！

俺の事は
もうそっとして
おいてくれ！





無理もないです！
彼が亡くなって
間もなくでしたし

でも
切嗣を訪ねてきた人を
無下に追い返すのは
出来なかったよ！

切嗣が居たら
そんな事しないって
思えてね

彼の思い出の地に
私は土足で敷地を
跨いでいたのですから

シロウ！



アルトリアは
俺の事
あつと見守って
たんだよね

はい！
どうしても苦しんでる
貴方を見逃ごせません
でしたから！



シロウツ！！



そんな中
運命の日が
来たんだよね！



発作が収まらない!!?

しかもこの症状は...!!
呪いの類のもの...!!

うぐっ...!!

あぐ...じりり



ハア...ハア...

ハア...ハア...



シロウ切嗣の薬を!

もう大丈夫ですから

慌てず
ゆっくり
飲んでください

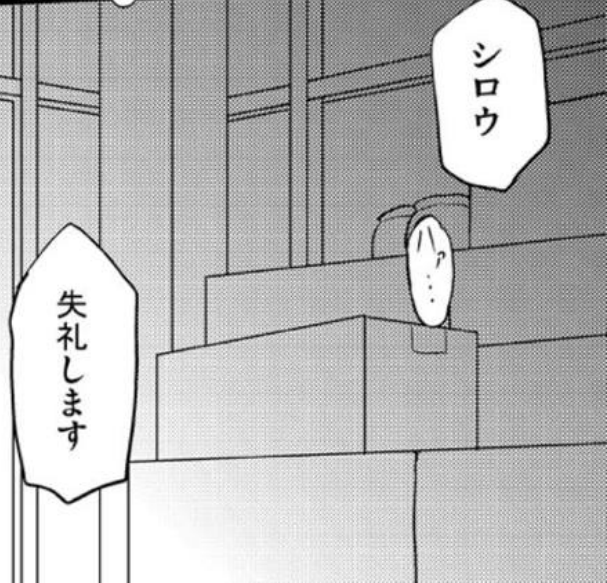


!?



発作が酷い...
このままでは
シロウが...

シロウが...!!



シロウ

失礼します



少しは
楽になる筈です

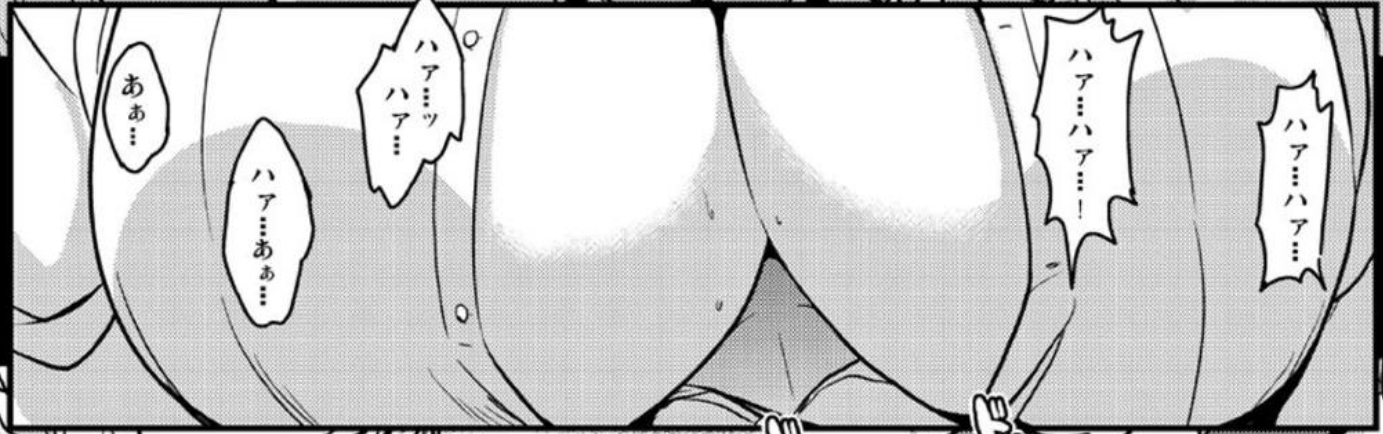
あ…
アルトリア…



な…なんで
急に

シロウ…
何も言わず
このまま
私の胸に
触れて下さい

ハッ…
ハッ…
ハッ…



あ…

ハア…
ハア…
ハア…

ハア…ハア…!

ハア…ハア…



シロウ
大丈夫ですか?

アルトリアの胸…
身体が楽に…
心地いい…

ああ…本当だ

ふう…

ふう…

はあ…

んっ…

ああ…
身体の中の
痛みが引いて
安らいでいく…

うん…

良かった！
発作も収まった
ようですね

あっ…

こゝゴメン
アルトリア
もう身体は
大丈夫なんだけど

腰に
シロウのが
押し付けて…

グハッ
グハッ

ふ〜…

別の方が
苦しくなつて
切なくなつて…

ゴメン
ゴメン

は、離れなきゃ…！
いつまでも
抱きついちゃって
ゴメン…

よく
頑張りましたね
シロウ

いいこ
いいこ

んっ！?

良いんですよ
シロウ貴方は
私に甘えてもいいんです

なんでだろう…
凄く心地良い

…
士郎の部屋に
行きましょう

貴方には
今人の温もりが
必要です

……っん

アルトリアの
おっぱい…
暖かだ
なんて甘い匂い…



ふたりで
俺の部屋に
入る

んっ♡

くゅ♡

俺の部屋に
入った後
アルトリアから
キスをされたら

くゅ♡

くゅ♡

ふた♡

ゆっくり
レクチャーする
大人のキス…

あゅ♡

あゅ♡

そして食べるような
恋人みたいなキス…

ふた♡

アルトリアの
豊満で柔らかい
大人のおっぱい

これが…
アルトリアの
おっぱい…

シロウ
どうぞ…♡

まじゅ♡

たふん♡

柔らかで
ふわふわで…
甘い匂い…

あんっ♡
シロウ…♡

あゅ♡

ゆさ♡

ぶるん♡

顔いっぱい
おっぱいの
アルトリアの

柔らかくて
重くて
なんて幸せな感触

んっ♡
シロウ
いっぱい甘えて

私のおっぱい
吸ってください

人肌って
こんなにも
暖かだったんだ

たふふ

むひゅ♡

こっちのシロウも
苦しそうですね

外に出して
あげましょうね♡

あうっ!

シロウの
おちんちん
愛い姿で
昂ぶってますね♡

んっ♡

私にもシロウのを
味あわせて
くださいっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

お互い舐め合ってるの
なんて凄

俺のちんぽが
溶けて何かが
ムズムズするっ

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡



あうっ…
あああっ…

ハア…ハア…

ごめ…ごめん
アルトリア…

綺麗な顔を…
汚しちゃった…

じゅる…
じゅる…



びしょ…
びしょ…

びしょ…
びしょ…

びしょ…
びしょ…



でもまだ『汚れ』が
出し切っていないです
ね

もっと触れ合って
汚れを出しましょう…

これが射精…

シロウ
これが射精と
言うんですよ

良いですよ
シロウ
それにしても
いっぱい
出ましたね…

飲んでる…っ
アルトリアが
俺の白いのを…



緊張しますか？
シロウ

だ！大丈夫だよ
アルトリア

それでは
入れますね！

むっ

むっ

んふっ

んんっ

んんっ

んんっ

ああ！
これがシロウの！

見えますか？
シロウのおちんぼが
私の腔内に
入ってくるのが

んんっ

んあっ

す！す！こいよ
アルトリア

あう！
きもちいい！

これが大人達が
やっている
セックス

大人の本で見た以上に
凄い行為！

んんっ



暖かくて
柔らかくて
手に吸い付く...

まるでアルトリアと
繋がるのがずっと
待ってみたい
『馴染』んでくる

むっ♡

ああ♡
おっばいに♡

うんっ...
凄く
気持ちいい...

んっ♡
シロウ!
どうですか?
痛く
ありませんか?

大丈夫!
収まりが
良いたうか

むっ♡

むっ♡



俺の中にある
『何か』が体内で
悦んでいる

シロウに
ぎゅってされるの
気持ちいい♡

んっ♡

もっと♡...
もっと触れて
ください♡

まるで長年
収められなかった
抜き身の剣を
収めた鞘みたいになっ...

はぁ♡
あぁ♡

あゝアルトリア
またきちゃう...!!

んっ♡

俺の部屋は
柔らかなアルトリアと
交わった体液と
汗の匂いで
いっぱいになった

これが俺が覚えている
アルトリアとの
初体験！

目覚めた後しばらく
恥ずかしくて
たまらなかったけど

あの日から
アルトリアは
大事な家族になったんだ



ありがとう
アルトリア！

あの時の俺を
救ってくれて

シロウ！

アルトリア！



あれ！？
その姿ももしかして

ふふっ！
シロウの思い出を
語ってくれたおかげで
どうやら身体への治療が
早まったみたいですわっ

アルトリア！

私が今
ドキドキしてるの
わかりますか？

うんっ！



あの…

あの時
アルトリアが
俺にしてくれた様に

今度は、俺が
アルトリアの為に
頑張るからっ！

いいかな？
アルトリア

はい…っ
シロウ

あの…これは私の
我儻な
お願いですが…

私も同じ
気持ちです♡

何？
アルトリア

うん！
なんでも言って！

あの…
これから
セックス
魔力供給する時は…

この時は私の事を
“セイバー”と…

はいっ♡
愛称と思って
セイバーと呼んで下さい

シロウにそう
呼んで貰えると
胸が熱くなって
ドキドキするのです♡

その呼び名…
以前、俺が脳裏に
浮かんできた名前…

そんな名前で
呼んで良いの？

はいっ♡
シロウ

はいっ♡
シロウ

ああ…この響き

実は彼女に
合っている…

はいっ♡
シロウ



ううっ俺の
ちんぼ越しに
凄く伝わってくる...

私の子宮が
喜んでるのを
分かりますか
シロウ

ああ...シロウ...
嬉しい♡♡



セイバーのおまんこ
すごい
吸い付いてくる♡

セイバー...
締めたいよ...!!

ああシロウ
思うがままに
おちんちんで
掻き回して♡

むっ♡

もっと
奥まで♡

ううっ...!
セイバーの腔内...
もうとろとろして
やばっ...熱い...っ

むっ♡

シロウ
気持ちいい♡

たろ♡

むっ♡

むっ♡

ああ...♡

セイバーっ♡
セイバーっ♡

ああ♡その名前
子宮が凄く
きゅんきゅんします♡

もっとセイバーっ
呼んでください♡

ああっ♡
シロウのおちんちん
いいです♡

むっ♡



あぁ...シロウもっと私で感じてください♡

セイバーっ♡
セイバーっ♡

感じますっ♡
シロウのおちんぼ子宮に♡
んんんっ♡



あっそこ...
気持ちいい...♡

シロウ...もっと突いて...♡
全身で私を感じて欲しい...♡



あぁ...素敵ですシロウ♡
もっと激しくシロウの全てをくださいっ♡

出したい...!!
セイバーの膣内でいっぱい注ぎたい

ううっ！
セイバーの
締め付けが
更に！っ！

でるっ！セイバーの
膣内の奥まで
精液だすよ！

射精して♡
全部私にくださいっ♡

シロウが
いっぱい望む分だけ

シロウの精液を
私の膣基の奥底まで
注ぎ込んで
いっぱい
満たして！っ♡

あああ♡♡

ん
あああ♡♡

びゅ
びゅ♡

びゅ
びゅ♡





……すまないね
ふたりとも……

星に憧れたキミ達の
幾多の物語を
ずっと見ていたかった

ああ
シロウ！
もっとう
私に
シロウのくささいっ

セイバーっ
好きだっ！

あっ
シロウ好きっ
好きっ
大好きっ

けど、見続けた結果
最悪の可能性が
生まれたのは
きつとボクのせいだと思う



だから、信条を曲げてでも
キミ達の物語の
手助けをしたかったんだ

私も……
貴方を
愛していますっ

セイバーっ！
俺も
愛してるっ

キミ達からの
報酬はとくに
頂いてる……

もう応援しか出来ないけど
二人でまた困難を
乗り切って欲しい

あっ
あああっ
またイクっ



ボクは舞台から
降りて
客席に戻るけど

その行く末に
綺麗な星が広がる
ハッピーエンドを
祈っているよ

どうか
キミ達の物語に
祝福あらんことを

亡なりの


乳王さま八幕





2022.12

■あとかき■

■そんな訳であとかきです
今回は槍トリアとショタ士郎メインとなりました。
当初で描きたかった部分がようやく描けたので
楽しかったですが
おそらく次回と次次回で終わりそうな感じがします。
決戦になりそうなのでページ数膨大になりそうですが
また頑張ります。

近況ですがPixivFANBOX始めました。
始めるのにかなり勇気と度胸が必要でしたが。
創作活動のモチベーションあげるために始めたので
良かったら応援したり覗いてやってください。(QRコード参照)

あとリングフィットアドベンチャーも7ヶ月目になりました。
健康維持のためにと頑張って続けたが、
ようやく成果も出てきたみたいでお腹太ってた頃と比べると
5キロほど減らせました。
目標体重までもうちょっとなので、引き続き頑張ります。

次回予定はコミケ102の夏コミか久々にコミ1で
参加したいなって思ってるので
こちらもよろしくお願いします。

皆様に感謝しつつ失礼いたします。

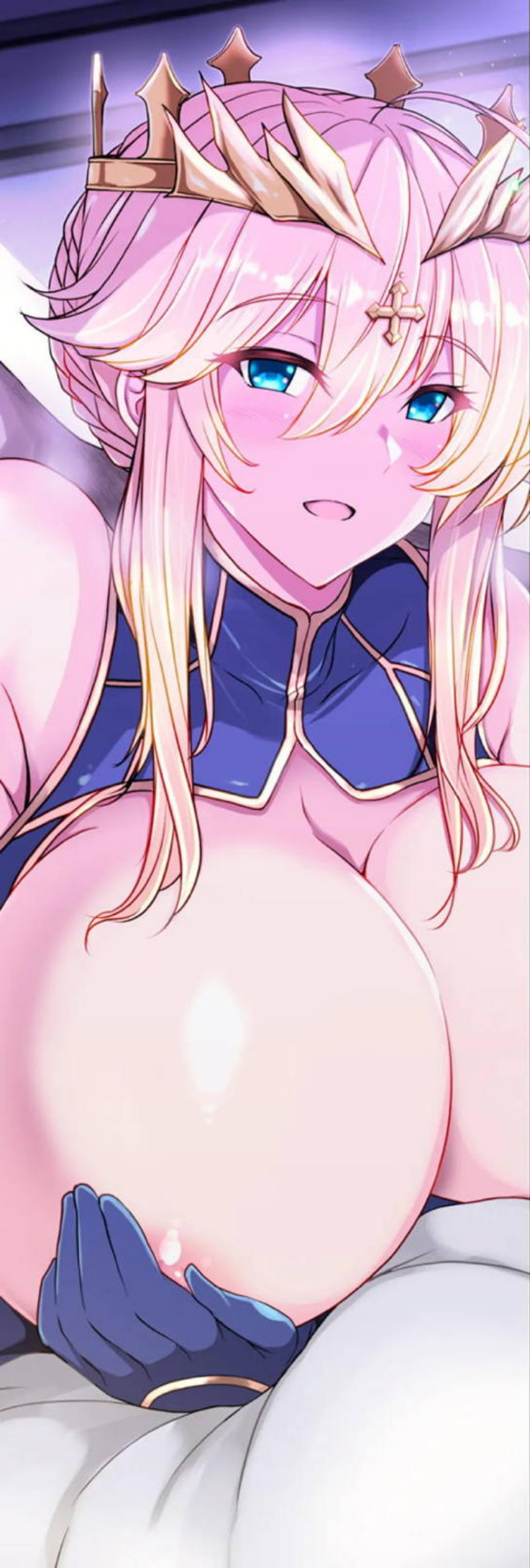
また次回お会いしましょう。ではでは！

■奥付
■発行:妖滅堂
■発行日:2022・12/31 初版
■著者:ヤサカニ・アン
■印刷:サンライズ様
■連絡先 e-mail: yasakani3@hotmail.com
Twitter: <https://twitter.com/yasakani>



pixivFANBOX

■18歳未満の方の購入、閲覧を禁止します。
また、この本の一部、または全ての無断転載や複製
インターネット上でのアップロードやファイル共有等を禁止します。



亡なりぬ

乳王さま八幕

YO-METSUDO
PRESENTS
Fate/SN・FGO Fan Book